

第86号

2022.3.17

(公社)津法人会 青年部会

津市広明町121番地

津税理士会館4階

TEL(059)225-1302

<http://www.tsu-hojinkai.or.jp/seinenbu/index.html>

## 提 言

## 「デジタル社会」

デジタル社会とは、大まかに言えばリアルな「もの」や「サービス」を「デジタル化（非物質化）」することで、新しい事業価値が生み出され、文化・産業・人間のライフスタイルを一変させていく社会と定義することができる。

ではデジタル化は何のため？

例えば業務上ではアナログでおこなっていた業務をデジタル化することで、今までかかっていた手間や時間が省け、業務効率が向上し、新事業への取り組みや残業の削減にもつながる。

また、膨大なデータを瞬時に送受信できることで、書類・音楽・動画など簡単に閲覧・保存ができる、会議やコミュニケーションも集合せず自宅や会社からZOOMなどによるWEB会議やテレワークも可能となる。

その他ドローンによる無人輸送業務・無人車両運転、ブロックチェーン技術による暗号資産・デジタル通貨。。。

50歳になる私にはもはや時代についていくことが出来ません。

いつからでしょうか？

やはり携帯電話で例えるとわかりやすいのかも。

私が初めて携帯電話を見たのは18歳、当時勤めていた会社の社長が肩からぶら下げていました。ショルダーフォンです。

重さは約3kg、通話料金は6秒10円、通話可能時間は40分

驚きの数字ですね。やがて小型化され、ポケットに入るほどになったものの、メモリー登録は力

タカナと数字のみで、登録件数も少なくまだまだ不便だったことを記憶しています。

それがアナログ回線からデジタル回線になり、3G→4G→5Gと進化し、自分が便利だと思う機能なんてどんどん追い越していき、いつのまにか最新の機能に追いつこうと取扱説明書を読んでもわからない日々が続いている。

それでも日本は世界から見たデジタル競争ランキングでは、2019年では23位、2020年では27位と後退しているのです。

こうしたデジタル化の遅れがテレワークの普及やワクチン接種などが進まない原因となっており、急拡大したコロナ禍で、日本社会は緊急の対応に追われたが、1年以上が経過してもテレワークなどは定着せず、ワクチン接種でもオンラインでの予約システムなどが十分に生かされなかった。

日本の遅れは、情報通信技術（ICT）分野への投資額をみれば一目瞭然で、米国が技術の発展とともに、約20年間で2倍以上伸びているのに対し、日本の投資額はほぼ変化がない。

コロナ禍に対応するには国民一人一人もデジタル技術への理解を深めなければならない。欧州では2030年までに、基礎的なデジタル技術を身に付けた成人の割合を現在の約60%から80%に引き上げる目標を掲げている。

この状況を踏まえ、私たちもスマートフォンやパソコンなど、身近な機器の使い方を再度学ぶ必要がありますね。

# 9月例会

## 『税務行政の将来像』

日 時：2021年11月2日(火) 18:30～20:00  
場 所：ホテルグリーンパーク津 6F 安濃の間



講 師 津税務署 署長 小倉 康彦 氏

本年度の税務研修会は、コロナ対策がしっかりととられたホテルグリーンパーク津の安濃の間にて、津税務署 署長 小倉康彦様に「税務行政の将来像」と題しまして、ご講演いただきました。

税務行政のデジタル・トランスフォーメーションの全体像とそれに伴い、今後どのように税務に関する手続きが変化していくかを分かりやすく説明していただきました。

また、令和5年10月1日から導入される「インボイス制度」についてもどのような準備が必要で導入されるにあたり取引先との関係の変化や事業者負担がどのようになるかも分かりやすく説明していただきました。

最後には出席者から出た質問にも的確にお答えいただき事業者が抱える疑問を解消していただきました。



全 国 青 年 の 集 い

## 佐賀大会に参加

11月25日から2日間、佐賀県で開催されました全国青年の集い佐賀大会にweb参加しました。前回の島根大会は残念ながら中止となっていましたが、今回は会場とwebによるハイブリット方式にて開催することが出来ました。

画面越しではありましたが「式典」・「租税教育プレゼンテーション」を視聴参加致しましたが会場の雰囲気は十分伝わってきましたし、プレゼンも各単位会の発表も素晴らしく今後の参考になるような発表ばかりでした。今回は鈴鹿法人会さんが名古屋局連を代表して発表されました。残念ながら賞は取れませんでしたが、笑いの要素がかなり強いプレゼンで面白かったです。

また今回「財政健全化のための健康経営プロジェクト」の一環として「健康経営大賞」ファイナリスト事例紹介がありました。

59単位会から選ばれた5単位会・131社から選ばれた5企業の取り組みの発表でした。

単位会の発表事例としては我々も取り組んでおりますKSPアプリを活用したウォーキングキャンペーンの参加や、健康に関するセミナーを開催し意識の向上を目指すというもの、エコキャップ回収運動をしている単位会、メンバーで色々な運動を行い、血管年齢を測定し数値の改善を目指すというもの等、各単位会のさまざまな取り組みが発表されました。

また各企業の発表では、地域の美化活動に参加したり、健康に関する内容をポイント制にし、社内で順位を競うというもの、健康に関するbingoを作成しbingoの数に応じて商品が貰えるというもの等の発表がありました。今後は本会・女性部会も巻き込み、法人会全体で「健康経営」にさらに力を入れていくことになっていくそうです。

今回は、web参加でしたのでパネルディスカッション見学、懇親会・物産展等に参加できませんでしたが来年の沖縄大会には多くの仲間と共に参加できればと思います。

## 部会長 サミット

11月25日(金)佐賀市文化会館にて部会長サミットが行われました。コロナ禍の開催という事で、残念ながら我々津法人会青年部会はwebでの参加となりました。本来ならグループディスカッション形式で行われるのですが、感染予防対策として今回は全法連歴代会長によるパネルディスカション形式にて「法人会青年部会運動その本質とは！？」についてトークが繰り広げられました。

まず「租税教室」については税の本質が「思いやりの心」であることを踏まえた上で子供たちに考える要素を加えた上で、さらなる質の向上を目指して行って欲しいとのことでした。

また「財政健全化のための健康経営プロジェクト」については発足の経緯、法人会として何が出来るのか？その中で社会保障費・医療費削減の為にアクションを起こし青年部会メンバーで出来ることを取組んで行きましょうという内容のトークでした。

今年度から我々青年部会メンバーも健康経営に取組んでいますが、今回のディスカッションの内容をメンバーと共有し今後の活動に生かしていきたいと思います。



# 12月例会

## 『近況報告会』

日時：2021年12月3日(金) 18:30~20:00

場所：高田会館ホール

12月例会は、本来であれば忘年会として楽しい交流の機会になるのですが、コロナ禍ということもあり、今できる活動を考慮したうえで開催されました。

最初に三重県戦略企画部企画課の三浪様より三重県SDGs推進パートナーの登録制度について、配布された資料を基に申請方法等についてご説明いただきました。これは三重県内における企業や団体等のSDGsに向けた取組を見える化し、県が後押しすることで、持続可能な社会の実現に向けた取組を広げていくことを目的とした制度です。様々な登録メリットもあるので、是非登録申請に挑戦してみてはいかがでしょうか。

その後は、本年度の活動について各委員会から報告を頂きました。

コロナ禍において活動を制限される中、様々な対策を行うことで開催された租税教室・研修会・会員増強・広報・保険事業などについて、各委員会から説明していただきました。

また、吉村部会長からは全国大会での租税教室活動発表についてご報告いただきました。

懇親会としては、会員企業の商品が全員に当たるbingo大会を行い、最初の方と最後の方にbingoになった方には、少し良い商品がプレゼントされました。

まだまだ不安定な情勢ではありますが、来年こそは飲食付きで大いに盛り上がりたいと願っております。



# 2月例会

## 『コロナに負けるな！今だからこそSNS採用・集客の活用術！』

日時：令和3年2月24日(木)

講 師 (株)名古屋鴨ガシラランド 代表取締役 長谷川 秀樹 氏

令和3年2月24日(木)に、津法人会青年部会2月例会を開催しました。

今回は(株)名古屋鴨ガシラランド 代表取締役 長谷川秀樹様に、「コロナに負けるな！今だからこそSNS採用・集客の活用術！」と題しまして、ご講演をいただきました。

新型コロナによる蔓延防止措置の期間中でございましたので、完全オンライン講演でのリアルタイム講演とさせていただき、最終20名強のご参加をいただき、講演が始まりました。

長谷川社長は、4年前から障害者グループホームの経営・運営を新規事業として始められましたが、その中で各種SNSを駆使して、それを採用・集客に活用しているとのお話をでした。

Youtube、Facebook、LINE、ZOOMの特性、長所・短所を実際の活用状況を交えて、分かりやすくご講演いただきました。

Youtubeについては、お金の話が再生回数が伸びるであるとか、サムネイルが直接チラシ代わりになるとか、自身のファンが増えれば、Youtubeで新規でグループホームを作りますと告知をすれば、スタッフが勝手に採用に応募してくるなど、色々気づきのあるお話をいただきました。

コロナ禍においてSNSの活用はますます大事になっている中、事例の紹介や、質疑応答でも気さくにお答えいただき、大変学び深い2月例会となりました。

お忙しい中、快く講師を受けていただいた長谷川社長、そしてご参加いただいた会員の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

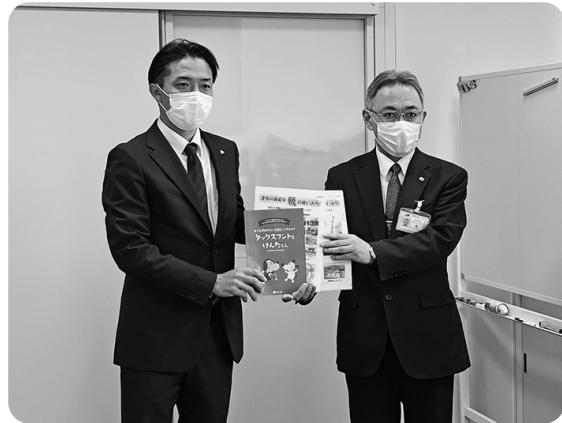


# 租税教育活動 津市教育委員会贈呈式

3月2日に津市教育委員会を訪問し授業中の写真が入ったクリアファイルと租税教育用冊子を、市内の小学5・6年生全員に配布していただけたよう、贈呈させていただきました。

来年度の租税教室の開催のご依頼と、授業に取り入れて欲しいという課題をいただき、租税教室に対する期待が更に高まっていることを実感しました。

13年目の租税教室に向けて、より良い授業をおこなわなければならぬと、決意いたしました。



## やっぱり いきいきはげみ! 第36回

### 「バイクはいいぞ！」（最終回）

新型コロナ禍の影響によって、多くの変化が我々の日常生活に起きました。

特に、密になりにくいアウトドアの活動が活況を帶びてきています。ここ数年で、非常にバイクを沢山見かける様になったと思いませんか？実際に、二輪車（原動機付き自転車を除く126cc以上）の2020年度新車販売台数は12年ぶりに14万台を超えており、「3密」を避けて移動できる点に加えて、非常に楽に運転できるバイク（シフトアップ・ダウングクラッチ操作不要で可能など）が登場したこと、リターンライダーに加えて、若年層のライダーが増加したことが、登録台数の増加につながっています。

さて、いよいよ「バイクはいいぞ！」も最終回となりました。最終回はいよいよ筆者Kのレースデビュー（約1年前）のお話となります。

#### 前回までのあらすじ

- ・筆者Kが友人Sから突然バイクのレース活動に誘われ、急遽監督としてレースに参加
- ・筆者Kの長男（オフロードバイクで競技に出場している）とその友人にライダーをお願いしていたが、レース終了後、長男は今後はロードレースには出場しないと連絡してきた。
- ・ライダー不在の為、筆者Kと三男R（当時14歳）がライダーになる為の練習を開始した。



前回でようやくコースデビューを図った筆者Kと三男Rでしたが、これから先どの様に練習していくべきなのだろう？と早くも行き詰ってしまいました。筆者自身もそうですが、三男Rはまだ中学生ですし、どの様な環境で練習していくべきなのか全くわかりません。そこで、筆者は「とにかく鈴鹿サーキットを走ってみよう。そうすれば何か掴めるかも！」と非常に安直な考えで、とりあえず鈴鹿サーキットを走ってみることにしました。鈴鹿サーキットではROC（ライドオンクラブ）という枠が設定されており、所定の講習を受講し会員ライセンスを取得すれば、公道用バイク（250cc以上）で走行することができます。（サーキット走行にご興味ありましたら、是非ともトライしてみて下さい。非常に爽快です！）

筆者Kは予想通り？の下手さ加減で、二回目の走行で既にコースアウトし転倒。ペダルは折れて、カウルもバリバリと無残な状況でしたが、養生テープで応急処置をして何とか家路につきました。さて、下手な筆者KもROCへ通うこと数回、同じピットに入った方が偶然にもレース活動をされており、岡崎のチームに所属しているとのこと。筆者Kが事情を話したところ、是非ともチーム監督に一度相談されてみては？とお声がけ頂き、これがご縁となって、監督、チームの皆様に沢山のご指導、サポートを頂いております。

その後、筆者Kは相変わらずの下手さ加減ですが、三男Rはどんどん上達してきました。三男Rは早くレースに出たくて仕方が無かった様なので、ちょうどその頃にミニバイクで出場できる耐久レース（三男Rが沢山周回したいという勝手な理由から）にエントリーすることにしましたが、これがまた無謀にも愛知県美浜サーキットで開催される「美浜8時間耐久レース」です...、三男Rは非常に嬉しそうですが、準備する側の身にも

なって欲しいわ、、、と筆者Kかなり憂鬱になってきました、、、とは言うものの、前回の経験もあり、早速チーム構成を検討しました。

まず、今回は筆者Kがライダーとして活動するので、当日の監督は長男Yに任せました。監督：長男Yライダー：筆者K、三男R、筆者友人S、長男友人Mの計5名で計画しましたが、8時間の長丁場ですので、ライダー登録、サポートメンバーもまだ不足しています。少し弱気になっていた所、何と前回の鈴鹿Minimoto四耐レースで、偶然ピットで一緒にさせて頂いたチーム「美食俱楽部」さんが合同参加してくれることになりました。本当に強力なチームに助けて頂くことができ、また前回の経験も活かしながら、不測の事態に備え、スペアパーツ等も万全な状態として、7月末の暑い日曜日に臨みました。もちろん、今回の目標は「何が何でも完走！」です。

さて、前日の深夜まで最終チェック、タイヤ準備等作業を終えていざ出陣です！

当日の天気予報はレース開始（10:00）1時間後からずーっと雨。途中でレインタイヤへの履き替えを予定し、ライダーのローテーションを検討していきます。早朝からの車検、給油ポイントの確認、ライダー交代手順の確認、ブリーフィングを終えていよいよ出走順のくじ引きです。何とここで非常にくじ運の悪い筆者Kがポールポジションを引いてしまい、びっくりです。ポールポジションです！最前列です！

興奮も束の間、ルマン式スタートにてレーススタートとなりましたが、予定より早く30分後には雨が降り出し、レインタイヤへ交換です。この際に予定より早くライダー交代も済ませてしまいますが、タイヤ交換に手間取ったこともあり、この時点ではクラス5番目の位置まで後退してしまいます。その後は、各ライダーとも流石です！特に雨を苦手としていないライダーが多く、気が付いたらクラス3番手まで順位を回復していました。

コンディションは大雨と小雨の繰り返しで、開始から3時間後にはコーナーのイン側が水没するほどの状態になってきました。各ライダーともほぼ1回目の走行を終え、いよいよ筆者Kの出番です。とは言うもののデビュー走行がいきなりのフルウェット状態で、転倒せずに20分ほど走行させるのが限界でした。もうガチガチの状況でまともなタイムでは周回できず、クラス4番手との差もごく僅かとなっていました。非常に悔しい苦いデビューとなり、疲れもあり、気が抜けたのもあり、暫くボーッとしてましたが、何やらピットが盛りあがってきました。開始から5時間を経過した頃、クラス1位のチームがマシントラブル、2位のチームは転倒が重なり、何とクラス1位まで周回遅れを切るところまで挽回してきました。この瞬間、チームの目標が「クラス優勝」に変わり、ライダー交代の予定、給油のタイミング、全て「クラス優勝」に向けて残り3時間の予定を変更し、猛追開始です！これで、私の二回目の走行予定は無くなりました。各ライダーとも限界のペースで周回していき、いよいよ残り1時間半の時点で最終コーナーで前のマシンを抜き去り、クラス1位となりました。クラス2位のチームの給油タイミング等も予想しつつ、ラスト30分で最後のライダー交代を行いました。この時点でクラス2位のチームとは1周半ほどの差がありましたので、大丈夫だろうと思いながらも本当に長い30分間でした。10秒前のカウントダウンと共に、17時のチャッカーです。コントロールラインをマシンが通過した瞬間「クラス1位」が決定しました。本当に嬉しかったですね！さて現在、筆者Kは自身のチーム活動を休止し、所属チーム内で三男Rの競技活動をサポートしています。相変わらず長男Yはモトクロス競技を楽しんでいますし、次男Mも現在普通二輪免許の取得に励んでいます。（余談ですが、妻も息子に触発されてか大型バイクに乗っています）

友人Sからの一言「バイクのレース出ません？」

がきっかけとなり、筆者Kにとって、家族にとって、今ではバイクは無くてはならない存在となりました。数年後には家族でツーリングを楽しみたいですね。

「バイクはいいぞ！」如何だつたでしょうか？一人でも多くの方がバイクの魅力を発見して頂けたら幸いです。

